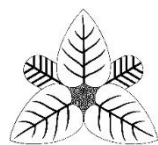


令和 7 年 度 広島県立広島国泰寺高等学校入学者選抜一次選抜実施要項



(〒730-0042) 広島市中区国泰寺町一丁目 2 番 4 9 号

T E L (0 8 2) 2 4 1 - 1 5 3 7

F A X (0 8 2) 2 4 1 - 2 0 2 0

<https://www.kokutaiji-h.hiroshima-c.ed.jp/>

1 選抜の趣旨

入学者の選抜は、「令和 7 年度広島県立高等学校入学者選抜の基本方針」及び「令和 7 年度広島県公立高等学校入学者選抜実施要項」に基づき、本校全日制課程における教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行う。

2 課程、学科・コース、定員及び通学区域

課程	学科	定員	通学区域
全日制	普通科	240 人	広島県一円
	普通科理数コース	80 人	

3 教育目標、育成を目指す資質・能力に関する方針、入学者の受入れに関する方針、教育課程の編成方針及び実施に関する方針

(1) 教育目標

国際社会の平和と発展のために活躍できる人材を育成します。

(2) 育てたい生徒像

- ア 「凡事徹底」を土台とし、自ら考え、判断し、行動できる「自律」した生徒
- イ 多様性を受け入れ、他者と協働して、新しい価値を創造できる生徒
- ウ 困難や失敗に学び、チャレンジを繰り返し、最後までやり遂げる生徒

(3) 入学者受入方針

ア 普通科

- (ア) 現代社会への幅広い興味・関心をもち、文系・理系を問わずバランスの取れた学力を備えている生徒を求めます。
- (イ) 社会と自己のつながりや自己が果たすべき役割を考え、行動しようとする意欲的な生徒を求めます。

イ 普通科理数コース

- (ア) 自然科学への知的好奇心に富み、理科・数学において基礎的な学力を備えている生徒を求めます。
- (イ) 素朴な疑問を大切にし、とことん突き詰めて考え、解明しようとする積極的な生徒を求めます。

(4) 教育課程の編成及び実施に関する方針

ア 普通科

- (ア) 第 1 学年では、各教科の必修科目を中心とし、幅広く学べる教育課程を編成します。
- (イ) 第 1 学年では、文理融合の教科横断的な学校設定科目「グローバル平和探究」を設けて、知識・技能を深め、協働して課題発見・解決力を培い、コミュニケーション能力やイノベーション（新しい価値を創造する力）を育成します。

- (ウ) 第1学年の「グローバル平和探究」に続き、第2学年からは、系統的な「総合的な探究の時間」を実施し、課題発見・解決力 論理的・批判的思考力を培うとともに、イノベーション（新しい価値を創造する力）、オープンマインド（多様な他者を受容する力）、グリット（やり抜く力）を育成します。特に第2学年においては2単位で設定することによって、より深い探究活動を行います。
- (エ) 第2学年からは進路に合わせた選択ができるように編成します。
- (オ) 第3学年では、文理別の教育課程を編成し、生徒の進路希望が達成できるようにします。
- (カ) 第2・3学年では、外国語（英語）選択科目「グローバル・イングリッシュ」を設けて、高い英語力と課題に粘り強く取り組もうとするグリット（やり抜く力）を身に付けます。

イ 普通科理数コース

- (ア) 第1学年では、理科基礎科目を3科目履修し、第2学年以降の理科の科目選択及び学習を円滑に進めます。
- (イ) 第1～3学年では、理数教科だけでなく、幅広く学べる教育課程を編成し、生徒の進路希望が達成できるようにします。
- (ウ) 第1学年では「理数探究基礎」、第2・3学年では「理数探究」を履修し、特に第2学年においては「理数探究」を2単位で設定することによって、より深い探究活動を行います。
- (エ) 第1学年では、自然体験合宿を行い、豊かな自然に触れ、自然への興味・関心を高めるとともに、自然を探究する方法を学びます。
- (オ) 第1～3学年で、習熟度別授業を実施し、少人数指導によってよりきめ細やかな指導を行います。

4 出願資格

次の(1)から(5)までのいずれかに該当する者が出願できる。

- (1) 中学校を卒業した者
- (2) 令和7年3月に中学校を卒業する見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（以下「施行規則」という。）第95条各号のいずれかに該当する者
- (4) 令和7年3月に施行規則第95条第1号又は第2号に規定する課程を修了する見込みの者
- (5) 日本国内において、外国人学校の教育により9年の課程を令和7年3月31日までに修了又は修了する見込みの外国人で令和7年3月31日までに満15歳以上に達する者

5 出願

(1) 方式

- ア 通学区域は広島県一円である。
- イ 普通科と普通科理数コースとの併願を認める。

(2) 期間

ア 出願登録

- (ア) 志願者登録・中学校確認登録
令和7年1月23日（木）から2月4日（火）16時まで
- (イ) 高等学校確認登録
令和7年2月5日（水）から2月10日（月）正午まで

イ 志願変更

令和7年2月13日（木）から2月19日（水）正午まで

ウ 調査書等提出

令和7年2月13日（木）から2月20日（木）正午まで

紙媒体で提出する必要があるものは、簡易書留郵便により、2月19日（木）までに必着するよう提出すること。

※受付時間は、9時から16時までとする。ただし、12時から12時45分までは除く。

（なお、最終日は正午までとする。）

(3) 手続

手続はインターネット出願システムにより行う。

詳細については「インターネット出願の手引」を参照すること。

ア 出願登録

(ア) 志願者

a 必要事項の入力

志願者は、(2)ア(ア)の期間内に、インターネット出願システムで必要事項を入力し、出身中学校長の確認登録を受ける。ただし、中学校卒業後5年を超える者については、出身中学校長の確認登録を受けない。その場合においては、(2)ア(ア)の期間内に、インターネット出願システムで必要事項を入力し、卒業証明書を本校校長に直接持参により提出すること。

b 入学者選抜料の納付

志願者は、2月19日（水）正午までに、入学者選抜料（2,200円）を納付する。

なお、志願変更（イを参照）を行う場合には、志願変更先高等学校が確定した後、入学者選抜料を納付すること。

(イ) 出身中学校長

a 確認登録

出身中学校長は、(2)ア(ア)の期間内に、インターネット出願システムで確認登録を行う。なお、確認登録に当たっては、志願者の入力事項等に誤りがないことを確認すること。

b 入学者選抜料の納付の確認

出身中学校長は、2月19日（水）正午までに、志願者が入学者選抜料（2,200円）を納付していることをインターネット出願システムで確認する。

イ 志願変更

志願者は、1回に限り志願した高等学校、本校普通科におけるコースの志願変更を行うことができる。ただし、出願取下げを行った後、当初志願した本校普通科における同じコースに再び出願することはできない。

志願変更を行う場合は、(2)イの期間内に、次により出願取下げ及び志願変更申請を行う。

なお、中学校卒業後5年を超える者については、出身中学校長を経由せずに行う。

(ア) 志願者

a 志願取下げ

志願変更を希望する者は、インターネット出願システムで出願取下げを行い、出身中学校長の承認を受ける。

b 志願変更申請

志願変更を希望する者は、本校校長が出願取下げの承認を行った後、インターネット出願システムで必要事項を入力し、ア(ア)の手続に準じて、出身中学校長の確認登録を受ける。

c 書類の訂正及び提出

志願変更を希望する者は、出身中学校長を経由して返却された書類がある場合には、高等学校名等変更すべき箇所を訂正（朱書）し、所定の期間内に、出身中学校長に提出する。

(イ) 出身中学校長

a 出願取下げの承認

出身中学校長は、志願者の出願取下げに誤りがないことを確認の上、インターネット出願

システムで承認を行う。

b 志願変更の確認登録

出身中学校長は、ア(イ)の手續に準じて、インターネット出願システムで確認登録を行う。

c 書類の返却及び提出

出身中学校長は、本校校長から返却される書類がある場合には、本校においてそれを受け取り、志願変更を希望する者に返却する。また、志願者から提出された書類を所定の期間内に、志願変更先高等学校長に持参により提出する。

ウ 調査書等提出

出身中学校長は、次の①及び②の調査書等を作成し、(2)ウの期間内に、本校校長にインターネット出願システムにより提出する。ただし、①において成績証明書を提出する場合は、持参又は郵便により提出することとし、郵便で提出する場合には、簡易書留郵便により、2月19日(水)までに必着するように提出すること。また、令和6年3月以前の卒業者については、②の書類は提出しなくてよい。

① 施行規則第78条の規定による志願者の調査書(調査書情報)

② 評定(成績評点)集計表(様式第2号)

エ 受検票の作成及び印刷

(ア) 受検票の作成

本校校長は、(2)イの志願変更期限後に、インターネット出願システムで承認登録を行う。本校校長は、承認登録を行った後、令和7年2月20日(木)正午までに受検番号の採番を行う。

なお、入学者選抜料を納付しない場合は、志願を取り消したものとみなす。

(イ) 受検票の印刷

志願者は、本校の受検番号の採番以降に、受検票をダウンロードし、印刷する。

オ 志願者数の公表

次の志願者数の公表を本校ホームページへの掲載により行う。

(ア) 2月10日(月)正午現在の志願者数を同日15時に公表する。

(イ) 2月13日(木)16時現在の志願者数を同日16時30分に、2月14日(金)16時現在の志願者数を同日16時30分に、2月17日(月)16時現在の志願者数を同日16時30分に、2月18日(火)16時現在の志願者数を同日16時30分に、2月19日(水)正午の志願者数を同日15時にそれぞれ公表する。

6 選抜

(1) 一般学力検査

ア 一般学力検査は、志願者全員に対して行う。

イ 一般学力検査の実施教科は、国語、社会、数学、理科及び外国語(英語)とする。

ウ 一般学力検査は、各教科50点満点とする。

(2) 自己表現

ア 自己表現は、志願者全員に対して行う。

イ 自己表現は、検査官1人当たり15点満点とする。

本校の自己表現は30点満点とする。

(3) 中学校過年度卒業の志願者の面接

中学校過年度卒業の志願者について、面接を実施する。

(4) 実施期日及び時間割等

2月26日(水)			2月27日(木)	2月28日(金)
時限	時刻	検査教科等	検査等	検査等
	8:40 9:00	検査場の 各自の席に着席 点呼・諸注意	自己表現	予備日 (自己表現)
第1時限	9:10 10:00	国語		
第2時限	10:20 11:10	社会		
第3時限	11:30 12:20	数学		
第4時限	13:10 14:00	理科		
第5時限	14:20 15:10	英語		

- (注) 1 第1日の集合は各検査場とする。
 2 第1日の英語については、放送による聞き取り検査も実施する。
 3 本校では自己表現は原則として第2日(2月27日(木))に実施する。ただし、志願者数によっては第3日(2月28日(金))も実施する場合がある。
 4 自己表現の集合時間は2月21日(金)16時に本校ホームページに掲載する。
 5 中学校過年度卒業の志願者の面接は第1日目の第5時限後に実施する。

(5) 実施場所

広島県立広島国泰寺高等学校

(6) 携行品

ア 学力検査時の検査場内への携行品

受検票のほかに、検査場内の各自の席に持込みができるものは、次の①から⑥の物品のみとする。

- ①鉛筆、シャープペンシル
 ②鉛筆削り
 ③消しゴム
 ④定規(分度器のついたものや三角定規は不可)
 ⑤時計(スマートウォッチ等の辞書や計算や端末等の機能があるもの等は不可)
 ⑥ティッシュ(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)

①から⑥以外の物品(携帯電話、コンパス等)を持ち込むことはできない。

また、①から⑥の物品であっても、検査問題の解答上有利と考えられるものは持ち込むことはできない。

各教科の検査開始後に、検査場内に上記の持込みができる物品以外の物品を持ち込んでいることが発覚した場合には、不正行為とみなす。

不正行為を行った場合は、退室となり、その後の全ての検査の受検はできなくなる。また、それまでに受検した全ての検査の結果は一切無効となる。

イ その他の持参物

弁当（第1日のみ）

※上履きは不要である。

7 合格者の決定

(1) 特色枠による選抜

入学定員の50%以内において、一般学力検査、調査書及び自己表現の配点の比重は、4：4：2とし、一般学力検査、調査書、自己表現の結果を総合的に判断して決定する。

なお、一般学力検査について、普通科においては数学と外国語（英語）、普通科理数コースにおいては数学と理科について2倍の傾斜配点とする。

(2) 一般枠による選抜

一般学力検査、調査書及び自己表現の配点の比重は6：2：2とし、一般学力検査、調査書及び自己表現の結果を総合的に判断して決定する。

(3) 特色枠による選抜により合格者を決定した後、一般枠による選抜により合格者を決定する。

(4) 中学校過年度卒業の志願者の面接を実施した場合にあっては、その結果を加えて、総合的に判断して決定する。

(5) 自己申告書が提出されている場合は、これを選抜資料に加えて、総合的に判断して決定する。

8 帰国生徒及び外国人生徒等の特別入学に関する選抜

(1) 定員は、入学定員外で2人以内とする。

(2) 選抜は、「令和7年度広島県立高等学校入学者選抜の基本方針」及び「令和7年度広島県公立高等学校入学者選抜実施要項」に基づき行う。出願手続等の詳細は、本校に問い合わせること。

9 合格者の発表

(1) 合格者の発表は、令和7年3月10日（月）14時に本校玄関への掲示及び本校ホームページ（<https://www.kokutaiji-h.hiroshima-c.ed.jp/>）への掲載により行う。本校ホームページへの掲載は、令和7年3月11日（火）正午までとする。電話による照会には応じない。

なお、受検者本人の選抜の結果については、インターネット出願システムにより確認することができる。確認することができる期間は、令和7年3月10日（月）14時から令和7年3月11日（火）正午までとする。

(2) 合格通知書及び請書・辞退届は、合格者本人に交付する。

(3) 合格者は、令和7年3月11日（火）正午までに、請書又は辞退届を本校校長に提出しなければならない。

10 繰上げ合格の実施

合格者発表の後、入学辞退による欠員が生じた場合、繰り上げて合格者を決定する場合がある。

なお、その場合には、令和7年3月11日（火）14時までに、出身中学校長を経由（中学校卒業後5年を超える者を除く。）して受検者本人に連絡する。

11 特別措置の申請等

(1) 特別措置の申請

志願者で、点字検査用紙を必要とする者、機器等による検査問題の閲覧や解答を必要とする者、英語の実音聴取による受検が困難な者、中学校在学中に英語を履修しなかった者、代筆による解答を必要とする者、拡大した学力検査用紙を必要とする者、漢字にルビを振り拡大した学力検査用紙

を必要とする者、その他の特別措置を希望する者については、次により申請を行う。

なお、中学校卒業後 5 年を超える者については、出身中学校長を経由せずに行う。

ア 点字検査用紙を必要とする者については、入学者選抜に関する特別措置願（様式第 3 号）を令和 6 年 12 月 2 日（月）までに出身中学校長を経由して、県教育委員会に提出し許可を得る。

イ 機器等による検査問題の閲覧や解答を必要とする者については、入学者選抜に関する特別措置願（様式第 3 号）、医師の診断書及び中学校における個別の教育支援計画等を令和 6 年 12 月 2 日（月）までに出身中学校長を経由して、県教育委員会に提出し許可を得る。

ウ 発達障害を理由に特別措置を希望する者については、入学者選抜に関する特別措置願（様式第 3 号）、医師の診断書及び中学校における個別の教育支援計画等を令和 7 年 1 月 10 日（金）までに出身中学校長を経由して、県教育委員会に提出し許可を得る。

エ アからウ以外の特別措置を希望する者については、入学者選抜に関する特別措置願（様式第 3 号）を 5 (2) アの期間内に、出身中学校長を経由して本校校長に提出する。

(2) 自己申告書の提出

志願者で、特別の事情のある者及び過年度卒業生は、自己申告書（様式第 5 号）を本人が記入し、提出することができる。

中学校卒業見込者及び卒業後 5 年以内の者については、封をした上で、出身中学校長に提出する。出身中学校長は、志願者から自己申告書が提出された場合、5 (2) ウの期間内に、本校校長にこれを提出する。

なお、中学校卒業後 5 年を超える者については、5 (2) ウの期間内に、本校校長に直接持参により提出する。

12 県外等からの出願

県外等からの出願については、「令和 7 年度広島県公立高等学校入学者選抜実施要項」に示す必要な手続を行うこと。

13 やむを得ない事由による欠席者の取扱いについて

検査当日の特別措置によっても対応できず、やむを得ず一次選抜を欠席した者のうち、欠席した事由が次の表に該当し、本校校長が審査し正当と認められた場合に限り、追検査を受検することができる。

	事 由
大規模災害による罹災等	○検査当日の風水震火災その他の非常災害による交通遮断等。
疾病	○学校保健安全法施行規則第 18 条において学校において予防すべき感染症に指定されている疾病等、本人に帰責されない身体・健康上の理由によるもの。

※ 月経随伴症状等の体調不良等は、本人に帰責されない身体・健康上の理由によるものとして、表の「疾病」に該当する。

(1) 手続

「令和 7 年度広島県公立高等学校入学者選抜実施要項」に示す必要な手続を令和 7 年 3 月 3 日（月）正午までに行うこと。

(2) 選抜

ア 検査方法

自己表現及び小論文

イ 実施期日及び時間割等

3月5日（水）		
時 限	時 刻	検 査 等
	9：00 9：20	集合・注意
第1時限	9：30 10：20	小論文
第2時限	10：40 ～	自己表現

ウ 実施場所

広島県立広島国泰寺高等学校

エ 携行品

- ① 追検査受検承認（不承認）通知書
- ② 一次選抜における携行品

オ 合格者の決定

調査書及び検査等の結果によって総合的に判断して決定する。

なお、自己申告書が提出されている場合は、これを選抜資料に加えて、総合的に判断して決定する。

合格者は一次選抜の定員に含めて決定する。

14 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等に関する感染予防の留意点

- (1) 入学者選抜当日まで、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等への感染予防（手洗い、咳エチケット等）に気を配り、体調管理に努めること。
- (2) 入学者選抜当日は、マスクの着用は任意とする。（検査中の着用について特別措置の申請は要しない。）
- (3) 入学者選抜当日は、検査場の換気のため窓を開ける時間帯があるため、室温の変化に対応できるように、体温調節をしやすい服装等の工夫をすること。

15 一次選抜の結果に係る簡易開示について

(1) 開示内容

ア 一般学力検査における各教科の得点及び合計

イ 自己表現の総得点

ウ 調査書における必修教科の各教科・各学年の評定、計及び合計

(2) 開示請求対象者

一次選抜の受検者のうち不合格者（本人及びその法定代理人）

(3) 本人等であることの確認

令和7年度広島県公立高等学校入学者選抜実施要項107ページに示す書類の提示により確認する。

なお、受検票は本人を確認する書類の一つとなるので、受検終了後も大切に保管しておくこと。

(4) 開示期間

令和7年3月19日（水）から4月18日（金）までとする（ただし、日曜日、土曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日及び学校が定める振替休日等を除く）

く。)。

受付時間は 9 時から 16 時までとする（ただし、12 時から 12 時 45 分までは除く。 ）。

(5) 開示場所

広島県立広島国泰寺高等学校（受付窓口は事務室）

16 二次選抜の実施

二次選抜の実施の有無及び実施する場合はその定員の公表を、令和 7 年 3 月 12 日（水）10 時に本校玄関への掲示及び本校ホームページ（<https://www.kokutaiji-h.hiroshima-c.ed.jp/>）への掲載により行う。

17 その他

- (1) この要項に記載した以外のことについては、全て「令和 7 年度広島県公立高等学校入学者選抜実施要項」に基づき行う。
- (2) 志願について虚偽の事実（学歴・通学区域・調査書等）があることが確認されたときは、入学許可後であっても、入学を取り消すことがある。
- (3) 選抜の結果、合格者とならなかった者が、二次選抜を受検する場合は、改めて所定の手続をしなければならない。